

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	文学A		
英文授業科目名	Literature A		
開講年度	2009年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>文学入門というか、文学再入門のための講義である。 中学時代や高校時代に、国語の時間が大嫌いで、「文学」の門を入り損なった理工系の学生諸君。まだ諦めるのは早すぎる。 文学は、君たちの人生そのものを見つめ直す手段として、今もなお有効である。 そのことを、現代文の国語の教科書の定番となっている名作群を「読みなおす」ことで、考えたい。 新たな問題意識を燃やしつつ、名作を読みなおす。そして、現代人である自分にとっての「生きるヒント」を、ぐいっとつかみ取る。 だから、この講義は、中学・高校の国語の授業とはかなり異なった分析方法と分析結果を話すことになる。それが理解できれば、講義目標は達成される。 逆に、半年後の諸君の文学に対する認識が、中学や高校の文学史の時間で話される「常識」から一步も出ていなければ、この科目を履修した目的は達成されなかったと考えてよい。 必要に応じて、古文の教科書の定番となついる古典の名作も取り上げるが、文法の話はしないから安心してほしい。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>特に、なし。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>特に、なし。</p>

【教科書等】

教科書を使用するので、教室に毎回、持参すること。
島内景二『教科書の文学を読みなおす』、ちくまプリマー新書、720円(+税)。
この教科書を一度は通読しないと、単位履修は困難である。

【授業内容とその進め方】

大きく五つのテーマに別れる。それぞれを、2～3回で講義する。

1. 人間の恋は、どのように文学作品で描かれてきたか。夏目漱石の『それから』や『伊勢物語』、『源氏物語』の描く「許されぬ恋」について考える。
2. 人はなぜ旅に出るのか。夏目漱石の『坊っちゃん』や『源氏物語』の描く青春の旅を考える。
3. 文学のはなぜ世界共通なのか。森鷗外の『舞姫』を例に取りながら、古今東西の文学作品との共通性を発見する。
4. 自分の居場所は、どこにあるのか。夏目漱石の『草枕』と鴨長明の『方丈記』を響き合わせながら、自分のアイデンティティを見つけることの大切さを考える。
5. イジメと献身の違いは、どこにあるのか。森鷗外の『山椒大夫』を例に取りながら、陰湿なイジメと崇高な献身の落差を考える。

以上、中学や高校の国語の教科書の定番となっているメジャーな文学作品を、大学の教室で読みなおそうという試みである。中学や高校の時には理解できなかったことが、大学生になってわかることがある。

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

教室で話題となっている小説を、自分でも読んで見ることを強く勧める。
中学時代や高校時代の国語の教科書を読みなおしてみるのもよいだろう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランク下げる。また、何回か出席を取る。

小レポートのテーマは、教科書を読んだうえで、教科書で取り上げた小説を実際に読んで、自分の感想を書き記すこと。

学期末試験は、この講義によって、諸君がとれだけ「文学と人生」の関係について深い認識に到達したか、また文学という行為の意味をどれだけ理解できたかを、論述形式の設問によって解答してもらう。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

中学や高校の「国語」が嫌いだった人たち、いつまでも「読まず嫌い」はもったいない。一度、読んでみよう。そしたら、今の自分を見つめ直すきっかけが、きっと得られる。

【その他】

電通大に「文学」という科目があるのは、電通大生に「人生」を考えてもらうためである。恋も、冒険も、失敗も……。人生に必要なことは、漱石や紫式部が教えてくれる。